

# 遍照寺

真岡市中2402

1338年の室町時代の初め頃、中興※1 されました。室町幕府を開いた足利氏との関

わりも深く、由緒あるお寺です。

また、寺の敷地は、中村城の跡にもなっています。

※1 中興：一度衰えていた状態のものを、再び栄えさせること。



(撮影 上野訓宏)

だいにちによらいざそう  
大日如来坐像

遍照寺の本尊（最も大切にしている仏像）です。南北朝時代の1346年につくられました。

## 中村城跡

南北約182m、東西約191mの大きさがあります。写真からは、周囲に堀がめぐらされている様子がよく分かります。

中村城は中村朝宗が鎌倉時代に築いてか

ら、代々中村氏の居城でした。中村氏一族は、



(撮影 上野訓宏)

源頼朝といっしょに東北地方に戦いに行き、そこでの活躍もあり、東北地方に伊達郡をあたえられ、伊達氏の祖となったと伝えられています。